

日ごとに暑さが増してまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新年度が始まって3か月、生徒たちはそれぞれの目標に向かって落ち着いて学習に取り組んでいます。高校3年生は受験本番に向けた大切な時期に入りました。中学3年生にとっても、この夏は実力テスト対策や志望校選びに直結する重要なタイミングです。各学年とも、夏の学習が今後の大きな飛躍につながります。私たち講師陣も、一人ひとりをしっかり支えてまいります。

また、英会話スクールでは、デルマー先生の退職に伴い、8月より新たな講師体制となります。今後も「聞く・話す・読む・書く」の4技能をバランスよく伸ばしながら、実用的で楽しい英語学習を目指してまいります。

今回は、夏期講習や学習の進捗、英検情報などを掲載しております。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



●夏期講習 小4～高3生

夏の弱点対策講座はオーダーメイド！皆さんのニーズに合わせた講習を行ないます。

詳細は、先日送付した夏期講習の案内をご覧ください。中3生用、中3生以外用の講習があります。

夏期講習を受講した中3生は志望校判定の出る全県模試も受験します。

暑いですが、今年の夏も一緒にがんばりましょう！

●中3理社コース

中3理社コースでは実力テストの範囲に合わせた理科と社会の実力テスト対策を行います。今から少しずつ始めましょう。まずは基礎的な知識を身につけましょう。それから各実力テストの範囲に合わせた理科、社会の対策プリントをやります。夏期講習終了後からの受講がおすすめです。

●父兄面談

年に2回（7月と12月）に学習塾の父兄面談を行っています。面談期間以外でも対応します。

希望する方はお気軽にお問い合わせください。



●塾のお盆休み

8月12日（火）～16日（土）まで塾のお盆休みです。お間違えの無いよう、よろしくお願いいたします。※夏期講習受講者はお盆休み期間中でも授業が入る場合があります。

●8/3(日)無料体験入学会

8/3(日)に学習塾と英会話の無料体験入学と説明会を行います。お知り合いで当塾に興味のある方がいらっしゃいましたら紹介してください。

●第2回英検のご案内

<一次試験>

10月5日(日) 本会場

<二次試験>

11月9日(日) 本会場A日程(21歳以上)

11月16日(日) 本会場B日程(20歳以下)



<個人申込受付期間(本会場)>

7月1日(火)~9月8日(月) (ネット申し込み)

※準会場で受験の方は、各学校の担当の先生にお問い合わせをお願いします。

<検定料>

●本会場 1級 12,500円 準1級 10,500円 2級 9,100円 準2級 8,500円

3級 6,900円 4級 4,700円 5級 4,100円

●準会場 2級 6,900円 準2級 6,100円 3級 5,000円 4級 2,900円 5級 2,500円

●英検大学優遇処置

大学入試(一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜)で、英検が使える大学が増えています。大学によって優遇処置が様々なので、毎年事前にチェックが必要ですが、「英検2級以上」で優遇処置が受けられる大学が多いようです。例えば、英検2級以上が入試で使える大学は、私立では早稲田、慶応、上智など、国立だと筑波、京都、大阪大学などがあります。もし準1級以上取得していたら、国際教養大学国際教養学科、秋田大学国際資源学科の一般選抜では、テストの英語の得点換算が満点となり、秋田大学医学部保健学科、教育学部全学科で、大学英語Ⅰ・Ⅱで単位がもらえます。

これらの理由からイトンでは、塾生に英検2級以上を取得することを進めています。ちょうど夏休みに入ります。この機会に是非、英検の勉強をされてはいかがでしょうか。

★学習塾のクラス報告

小学生

各自の苦手箇所(特に算数の)を中心に進めています。授業は計算から始めます。計算は、ただ答えを出せるだけではなく、早く正確に答えを出せることが大切です。四則計算も順番をしっかりと考えながら解くことで、正しい答えを導けます。順番が大切です。小学生のうちにしっかりとした計算力を身につけた人は中学生になっ



てからの数学の伸びが違います。計算の次は算数の苦手個所を学習します。各自のペースで分かるようになるまで何度も繰り返します。最近は図形をやっている人が多いです。算数の次は国語の読解力養成をします。中学になると、どうしても英数中心の学習になりがちです。国語の基礎を小学生のうちに身につけられると理想的です。

中1生

英語は文法中心に進めています。動詞の概念をある程度習得してから教科書内容に移行します。皆さんにお願いします。教科書の各セクションの上の方にQRコードが載っています。タブレットやスマホでそのQRコードを読み取ると教科書の音読ページ(外国人が教科書を読む)が出ます。QRコードで教科書の音読練習をどんどんやってください。単語ですが曜日、月、数字(20まで)は四月中に書けるようになることを目標にしていますが、まだできていない人が多いです。早めに書けるように自学等に練習してください！

数学は計算問題を中心に進めています。今年は計算で難儀している人が多く(やり方は分かるけど、ちょっとした間違いで答えが出せない)今まで習った計算の復習と同時進行で進めています。今やっている計算(正負、文字式、方程式)は今後も使う大切なものです。学校や塾で習ったもので良いですから自学ノートに復習してみるのはどうでしょう？

中2生

英語は教科書中心に進めています。不定詞等の難しい分野が入ってきましたが、なるべく分かりやすく進めますので、お家では塾のワークの重点問題演習を使って単語の練習を自学等にしてください。

数学は連立方程式の計算をやっています。連立の計算が終わり次第、中学生で習った計算分野の総復習をします。その後で連立の文章題、一次関数と進めていきます。難しい分野が続きますが、個別に目標設定してやり易いように進めていきます。

中3生

英語数学共に夏期講習前までは、教科書をなるべく先に進めます。夏期講習から実力テスト、入試問題を使った受験対策に移行します。できれば9月の実力テストで結果を出したいと思います。

10月,12月,1月(正月明け)の実力テストの平均点で出願先を決める中学校が多いです。高校入試本番は3月ですが、実際は正月明けまでが勝負です。もう半年です。そろそろ受験モードに切り替えましょう。

今年の塾生は横手高校志望者が多いです。目標は高いに越したことはありません。一緒に頑張りましょう！

高1生

英語は文法中心です。数学は教科書内容を進めています。定期テスト期間はどちらの教科も過去問等でテスト対策をやっています。前回の定期テストの際にもやりましたがテスト後にテストの分析をしっかりとって何から、どんな問題が出たのか、を把握してください。そしてそれを次の定期テストに生かしてください。出題個所を把握するだけでも、かなり勉強の量を絞ることができます。どの教科も勉強しなければいけないもの量が単純に2倍になっています。中学の時と同じやり方では通用しません。

高2生

英語は文法中心ですが、徐々に共通テスト対策も取り入れていきます。数学は教科書内容を進めています。数学ですが、だいぶ難しくなってきました。不得意な人にとっては、手が出づらくなってきました。取り組みやすいテキストや、プリントで、なるべく負担を減らしていきますので、まずは最低限の部分(塾でこれだけはしっかりやろう、と言われた部分)を押さえてください。

ちょうど中だるみの時期に入りました。志望校や将来の進路が決まっている、または英検に挑戦する等の目標があると、勉強に対しての姿勢が変わると思います。

高3生

英語は共通テスト対策、数学は理系の人は教科書内容、文系の人は入試対策です。1年生の頃からまじめに取り組んで来た甲斐もあり、模試の結果を見ると悪くない成績だと思えますが、応用力や実戦力の面でさらに得点を伸ばせる余地があると思います。今後は、過去問や予想問題を繰り返し解きながら、忘れてしまった基礎的な知識の整理と同時進行で進めていきたいと思えます。成績が本当に伸びてくるのは秋以降、共通テストの直前くらいです。

★こども英語 英会話の皆様へ

この度、長年イトンで教えてこられたデルマー先生が7月いっぱいまで退職することになりました。そこで8月より、子ども英語・英会話は、パトリック先生、英検担当の萩原先生、の2人で行っていきます。

萩原先生は、かつて子ども英語を担当していました。アメリカでの留学経験もあり、レッスンも英語で進めることができます。特に高学年のオレンジ・イエローコースは、これまで習った読み書き文法的事項の整理、英検の準備などベアーズコースとして効率的に指導出来ると思えます。

時間変更等をお願いするケースもあるかと思えますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

●子供英語コースのチェックテスト

7月中にこども英語のホワイト以上のクラスで理解度を知るためにチェックテストを行っております。今後の指導内容の参考にするためのものです。

Classroom English

レッスン中に私の生徒たちが苦労することのひとつに、11から100までの数字を正しく発音できないのがあります。上級レベルの大人の生徒でさえ、「13」と「30」、「14」と「40」の音の違いを区別できず、ましてや発音もできません。でも英語の数え方に関しては、ご自宅で適切な発音で練習すれば、子供たちに他の子より一歩先を行かせることができます。

まず、「T/D」ルールという非常に簡単なルールがあります。例えば、13から19までの数字は、Tシャツのように硬い”T”の音で発音します。30から90のような”O”がつく、または31、56のように他の数字がつづく場合は、DVDのようにハードは”D”の音で発音します。

残念ながら、「12」と「20」だけは例外で、発音するのはとても難しいです。また、カタカナ英語では「thirty」「forty」「seventeen」のよ「TH」「R」「V」の音を表現することができません。それでも、次の表のように数字を読めば、本物の英語にかなり近い発音ができます。 パット

11 エレヴン	
12 トエルヴ	20 トエンイ
13 サーティン	30 サーD
14 フォーティン	40 フォーD
15 フィフティン	50 フィフD
16 シックスティン	60 シックスD
17 セヴンティン	70 セヴンD
18 エイティン	80 エイD
19 ナインティン	90 ナインD



Thank you デルマー先生より お別れのご挨拶です

みなさんにご報告したいことがございます。私は7月いっぱいでのイートン・イングリッシュスクールを離れることになりました。アメリカに戻るのかと思われるでしょうが、そうではありません。私は、私の家族のスケジュールとライフスタイルに合った別の仕事をここ秋田で見つけました。

私は10年以上もイートンで働いてきました。その間私は結婚し、二人の子供をもうけました。私の人生の一つにはイートンと、もう一つはここで教えてきた私の大切な生徒たち全員のおかげで充実していました。毎年、みなさんが成長し成熟していく姿を見ることは、いつも私にとってかけがえのないものでした。私は毎日仕事に来ると、みなさんとのたわいのない会話や絆を深める経験を楽しみにしていました。

私がみなさんに心から望んでいるのは、英語のツアーガイドとしての私がいなくても、これからも英語の旅を続けてほしいということです。私が教えた期間が長くても短くても、私はみなさんが上達するための自信と能力を植え付けることができたかなと思っています。

忘れないでほしいのは、英語は学校の勉強の科目の一つだけでなく、現代社会の無数のコミュニケーションツールの一つだということです。それらのツールを使って、世界中のさまざまな文化や人々との新しい体験と理解を探し求めてください。

素晴らしい日々をありがとうございました。

デルマー

